

2024 年度 調査事業の概要

調査事業は、手賀沼流域フォーラム実行委員会から美しい手賀沼を愛する市民の連合会（以下、美手連）に委託し毎年実施しています。2024 年度の調査事業は、以下の 3 項目について取り組みました。

（1）手賀沼流域の外来水生植物・在来抽水植物調査

1）我孫子市都部谷津のナガエツルノゲイトウ観察報告/2024 年度

手賀沼から取水している水田や畦畔で特定外来生物のナガエツルノゲイトウが繁茂し、稲作に被害を与えています。我孫子市都部谷津の狭い面積でナガエツルノゲイトウに対し異なった対応をしている地点を選んで、2022 年 7 月からナガエツルノゲイトウの生育の違いを観察してきました。2 年間経過した時点で、一応状況の把握が得られたことにより、今年度 9 月をもって、観察を一旦終了することにしました。これまでの観察記録をまとめました。

2）遮光シートによるナガエツルノゲイトウ抑制実験部分的検証

我孫子市都部谷津の水田で、ナガエツルノゲイトウが繁茂しているエリア 2 箇所に遮光シートを敷設し、抑制実験を行っています。そのうちの 1 箇所の地点 C のシートを取り外し、ナガエツルノゲイトウの生育状況を観察することにしました。本来ならば、2 年間経過の 2025 年 6 月以降に検証する予定でしたが、夏期の活発な生育期ではなく、植物の代謝や光合成の速度が下がる冬期の状況を確認することにしました。

3）我孫子市都部谷津の水田に入ったオオバナミズキンバイの観察

2024 年 6 月に、ついに手賀沼流域の水田でオオバナミズキンバイの侵入を確認しました。美手連では、水田を管理している団体や行政、有識者等と速やかに駆除対応を開始しました。

4）手賀沼水生植物船上調査

県による外来水草駆除作業後の再繁茂等の状況確認と、在来抽水植物の分布状況を確認するため船上からの目視調査を 7 月 8 日と 11 月 25 日の 2 回行いました。

（2）大津川のオオカワヂシャ調査

2011 年大津川河口の土砂堆積地で特定外来生物のオオカワヂシャの生育を確認し、その後、手賀沼や大津川流域で調査を実施してきました。調査時に引き抜き、2016 年からは、手賀沼流域フォーラム実行委員、美手連会員、ボランティアの皆さんと上大津川と逆井方面水路で駆除作業を実施してきました。

駆除の目的は、手賀沼への流入阻止と、在来のカワヂシャとオオカワヂシャの交雑阻止でしたが、今はすでに交雑していると専門家からの指摘がありましたので、昨年度から駆除は取りやめとしました。調査は引き続き継続し、生育状況を把握します。

（3）手賀沼の魚類・貝類調査

毎年、美手連構成団体の手賀沼水生生物研究会が担当しています。2024 年度は、9 月 14 日にモンドリによる定量調査とガサガサによる定性調査を並行して行いました。